

ともに、次の一歩へ

のと復興ニュース

2026年08月
創刊号



復旧・復興
の進捗情報
Web page



復旧・復興
の今を発信
X

若手職員に
よる現場紹介
YouTube



現場から見える
奥能登の魅力
Instagram

発行元
国土交通省 北陸地方整備局
能登復興事務所
〒926-0046
石川県七尾市神明町口12
番地2 (NTT七尾ビル3階)
TEL (0767)52-4511 (代表)



能登復興事務所の

「今」をお届けします

私たち能登復興事務所は、令和6年1月1日に発生した令和6年度能登半島地震からの復旧・復興を進めるために令和6年2月に設置され、その後に発生した令和6年奥能登豪雨を含め、被災した道路・河川・砂防・地すべり・海岸の工事を行っています。

被災前の機能を取り戻す『復旧』に加え、より災害に強い地域づくりやにぎわいを創出する『復興』を推進しています。

また、能登の里山里海や観光地を巡る

「能登半島絶景海道」

の創造的復興に向けた取り組みを地域の皆様と共に進めて

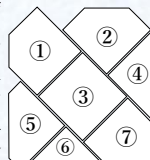
いきたいと思っています。



能登復興事務所長
北出一雅

写真位置

- ① 能越自動車道(鳳珠郡六水町七海)
- ② 地すべり対策(輪島市大野町)
- ③ 国道249号(珠洲市真浦町)
- ④ 国道249号(輪島市縄又町)
- ⑤ 国道249号法面対策(珠洲市馬繰町)
- ⑥ 宝立正院海岸(珠洲市上戸町)
- ⑦ 塚田川(輪島市久手川町)



～ 復旧・復興のあゆみ ～

5月 国道249号『逢坂トンネル』が再貫通



YouTube



トンネル内に希望の光が
差し込む瞬間をお届け！

珠洲市仁江町～真浦町の国道249号『逢坂トンネル』は、令和6年1月の能登半島地震によって、大規模な土砂崩落により輪島側のトンネル坑口が埋まってしまいました。

5月11日に土砂撤去が進み、約2年4か月ぶりに再貫通し、トンネル内部に光が差し込みました。

これまでに撤去した土砂は、16万m³（25mプールに換算して約300杯以上に相当）。

悪天候でも通行止めとならないように地域の大切な交通確保に向けて工事を進めます。

5月 特殊建設機械『スパイダー』の実演会を実施



5月16日に七尾市国分町の『能登歴史公園』にて複合遊具オープン式典が開催され、能登復興事務所は「はたらく車の展示・実演」にて、能登半島地震の道路啓開で活用した特殊建設機械『スパイダー』の実演会を実施しました。

なかなか見られない特殊な機械の実演に来場者は興味津々でした ✨

6月 権限代行河川『河原田川』の本復旧が完了

河原田川は令和6年1月の地震により、熊野町区間で大規模な土砂崩れが発生し、その応急復旧の最中、令和6年9月の豪雨により、再度被災しました。

権限代行により工事を行っていた輪島市の『河原田川』の本復旧が5月末に完了し、6月2日に国・県・市による現地立会が行われました。能登復興事務所が災害復旧を実施している河川のなかでは、最初の完了箇所になります。

今後は引き続き、法面对策の工事を進めていきます。



7月 町野川 護岸工事を実施中

令和6年9月の豪雨で大きく被災した輪島市町野川では、出水期も安全に施工を行うため、川の流れを阻害しない特別な工法で護岸工事を実施中です。



写真は、川底に設置するためのブロックを、潜水士が水の中で待ち構えているところです。

～ イベント情報～

9月22日（火）、第38回ツール・ド・のと400の特別企画として、能登半島絶景海道を走る「奥能登復興サイクル100」が開催されます。

能登半島地震、奥能登豪雨からの復旧・復興が進む能登半島の「今」をサイクルイベントを通して感じていただき、奥能登を応援する企画となっています。



イベント詳細・申し込みはツール・ド・のと大会公式サイト

(<http://tour-de-noto.com>)

をご確認ください。

隆起海岸道路を走るサイクリスト(昨年)

編集後記 SNSで情報収集することが多くなった今日、地域の皆様に紙面を手にとっていただき、あらゆる世代の方々に能登の復旧・復興をお届けしたいと考え、本ニュースを創刊しました。四半期に一度の頻度で発行していきますのでご愛読いただけますとうれしいです。能登を震災前より素敵な場所にするために。職員一丸となってインフラの復旧・復興を進めて参ります。（計画課：Y.T.）